

2024 総会理事長挨拶

特定非営利活動法人食品保健科学情報交流協議会
理事長 加地 祥文

食科協も設立から 20 年以上を経過しました。設立当初はまだインターネットもまだそんなには普及してなく、国の動向や審議会の議論の内容は、限られたソースから得なければならぬ状況でした。そういった情報ソースにアクセスして、広く会員の皆様へ情報を提供していくという協議会活動が重要な使命でした。また、国や国立医薬・食品研究所の先生たちから直接、話が聞けるという研修会という場の提供も協議会に参加する会員の大きなメリットでした。

最近のネット環境の充実が驚くばかりで、20 年前には想像すらできないものだったと思います。国の情報も審議会の議事録も、その気になれば事務所や自宅のパソコンでいながらにして入手できるようになりました。官公庁のデジタル化や情報公開へのスピードは目覚ましく、その気になれば恩恵を十分に取得することが可能な時代です。

しかしながら、一見、充実した情報が得られると思う一方で、情報の氾濫の中で果たして本当に必要な情報がなかなか入手できない、あるいは、形式的な内容ばかりで、真の経緯や理由、背景などが全く見えなくなっている、という不満をお持ちになる方が増えているのでは無いかと思います。

改めて、当協議会の活動を考えてみますと、このような情報氾濫の時代であるからこそ、真に必要な情報を正確に皆様に伝えるという役割が、ますます増してきていると考えます。また、情報の一方通行でなく、双方向性の必要性も大事なことだと思えます。以前と比べると食品業界からの情報もなかなか得られない、という行政側からの声も耳にするところです。

今後の当協議会の運営にあたって、さらに社会に貢献する活動に尽力していきたいと考える所存です。